



# 消防学校 ニュース



令和2年10月号

## 初任科防災研修

### ～防災及び原子力災害知識を習得せよ～

防災施設等を見学することにより、原子力災害対応、地震防災等に関する理解を深め、消防職員としての知識向上を図るため、初任科生たちは防災研修に出掛けました。

教育訓練も大詰めめの9月1日（火）、初任科生は早朝、バス4台に分乗して消防学校を出発しました。研修先は①静岡県地震防災センター②御前崎市消防本部です。初任科生は、4班に分かれ常に規律ある行動で見学しました。

（担当教官コメント）

近年、多種多様な災害が全国的に発生しており、消防職員にとって災害知識に加え防災知識も必要となってきます。静岡県は南海トラフ巨大地震の震源域に入っており、また、原子力発電所も所在していることから、自らが守る静岡県はどのような状況下にあるかを認識するのが目的でこの研修を計画しました。初任科生は真剣な姿勢で研修を受けており、資機材を実際に見て触れることで、座学では得られない貴重な体験をしたと思います。新型コロナウイルスの感染対策に細心の注意を払いながらの研修でしたが、御協力して下さった研修先の方々に感謝いたします。

教務課主査 森下 善弘（御前崎市消防本部から派遣）



御前崎市消防本部にて放射線座学とタイベックスーツの実演



県地震防災センターにて防災講話を真剣に聞く学生！

# 初任科 実科査閲

## 訓練の成果を披露する晴れの舞台

県内 16 消防本部(局)にて新規に採用された初任科第 91 期学生 133 人(うち女性 11 人)が、消防職員として必要な知識・技術を習得するため、寮生活を送りながら約 6 か月間(令和 2 年 4 月 7 日～令和 2 年 9 月 29 日)の教育訓練を受けてきました。「規律の厳守・技術の練磨・体力気力の練成」の校訓を胸に連日訓練に励み、その集大成として訓練成果を確認・披露するため、9 月 15 日(火)午後 1 時から本校で各種訓練の査閲を実施しました。初任科生たちは半年間の訓練成果をすべて余すことなく全力で披露しました。参列していただきました皆様、ありがとうございました。

(担当教官コメント)

訓練内容、役割分担、ナレーション等、訓練に関する内容を学生が主体となって考え、9 月 15 日の本番に挑みました。クラスや実科訓練班の垣根を越えた編成の中で積極的に意見を出し合い、内容を練り上げ、完成度の高い訓練を披露したいという姿に成長を感じました。

途中、グループのまとまりや展示方法に悩む学生も見られましたが、全員で力を合わせて困難を乗り越え、観覧した方々に日常生活の安心・安全を感じてもらえる見事な成果を挙げることができたと思います。

教務課主査 鈴木 啓介(静岡市消防局から派遣)

(内容)

開式	(開会宣言・挨拶)	13:00～13:20
訓練礼式	(通常点検・小隊行進)	13:20～13:40
機器取扱訓練	(各種資器材取扱等)	13:40～14:05
消防活動訓練		
	(基本放水・建物火災消化訓練)	14:05～14:35
消防活動応用訓練	(火災想定訓練)	14:45～15:15
救助訓練	(ロープ渡過・登はん・降下)	15:15～15:45
体力向上体操・一斉放水		15:45～16:00
閉式		16:00～16:10



学校長訓示



加藤静岡県危機管理監代理挨拶



海野静岡県消防長会会長挨拶



一糸乱れぬ団体行動！(訓練礼式)





破壊器具や三連はしごを使用した救出訓練（機器取扱訓練）



ホースカーを使用した基本放水訓練（消防活動訓練）



状況に応じて注水技術を使い分ける(消防活動応用訓練)



交通救助（救助訓練）



渡過訓練



体力向上体操



一斉放水

## 初任科修了式 ～消防学校からの旅立ち～

記録的な猛暑にも負けず、全力で教育訓練に取り組んできた初任科第91期の学生たちにも、いよいよ修了の日がやってきました。9月29日(火)、修了日には以下のとおり修了式を行いました。今期修了者は、133人(うち女性11人)です。

### 修了式次第

- 開式の辞
- 国旗に対する敬礼
- 黙禱
- 修了証書授与
- 各賞表彰(危機管理監賞等)
- 学校長式辞
- 静岡県危機管理監祝辞
- 静岡県消防長会会長祝辞
- 修了生代表答辞
- 閉式の辞



学校長から修了生代表へ修了証書授与



表彰（加藤静岡県危機管理監代理から静岡県危機管理監賞授与）



表彰（海野静岡県消防長会会長から静岡県消防長会会長賞授与）



答辞を読みあげる修了生代表 深澤総代



チーフ教官（鈴木教官）

「ひたむきに走り続けろ」

## 表彰一覧

種類	氏名	所属
静岡県危機管理監賞	遠藤 健太	富士市消防本部
静岡県消防長会会長賞	山本 竜大	掛川市消防本部
静岡県消防学校長賞	牧野 佑哉	浜松市消防局
	杉村 力	静岡市消防局
	國井 菜名	静岡市消防局
精励賞	山本 純也	富士宮市消防本部
	深澤 聖斗	静岡市消防局
	大庭 悠司	磐田市消防本部
	金森 彩葉	静岡市消防局
	板谷 湧斗	浜松市消防局
	中村 美里	静岡市消防局
努力賞	山崎 真杜	袋井市森町広域行政組合袋井消防本部
	中嶋 隆介	浜松市消防局
体力賞	杉村 力	静岡市消防局
功労賞	深澤 聖斗	静岡市消防局
	鈴木 仁一朗	浜松市消防局
	藤原 啓基	駿東伊豆消防本部
	平島 裕也	静岡市消防局

## 修了生代表答辞

修了生代表 静岡市消防局 深澤 聖斗（第91期総代）

朝夕と過ごしやすい涼しさとなり、秋の訪れを感じる季節となりました。本日は私達初任科第九十一期修了生百三十三名のためにこのような盛大な式典を挙げていただき誠にありがとうございます。また、御多忙の中を御臨席くださいました御来賓の皆様、並びに関係者の皆様に修了生一同心から感謝申し上げます。

～ 中略 ～

さて、入校当初は終わりが恋しく思ってしまうほど苦しかった初任科生活も、本日修了を迎えました。苦しい時、仲間との生活はかけがえのないものとなっていました。「苦しい、疲れた」そんな逃げたくなる思いの中でも最後まで諦めずにここまで来ることができたのは、同じ思いをしている仲間が隣にいて、共に励まし合ってきたからです。一人では成し得ないことも、ここにいる仲間がいたからこそ乗り越えることができました。気づけば私達の間には深い絆が生まれ、互いに信頼し合える仲間となりました。この学校で出会い、互いに切磋琢磨し、共に汗を流した仲間は私の誇りです。これから先、幾度となく迫りくる壁が多くある消防生活も、ここにいる九十一期の全員が助けとなるはずです。

私達百三十三名が今この日を迎えることができたのは、学校長をはじめとする教官、職員、私達をここまで育ててくれた家族のおかげであります。また、この静岡県消防学校で出会い、消防士になるという同じ志を持った九十一期の仲間のおかげでもあります。今後所属へ戻り、消防士としてそれぞれの道を歩み始めますが、初志貫徹を貫き、国民のために訓練に精進し、国民が私達消防士に寄せる大きな期待に応えるため尽力していきたいと思えます。

最後になりましたが、学校長をはじめ、教官、職員の皆様の益々の御健勝と御多幸をお祈りすると共に、静岡県消防学校の更なる御発展を祈念いたしまして、答辞とさせていただきます。

※ 一部分の抜粋です。

## チーフ教官から

初任科第91期修了生たちへ

教育日数115日、教育時間数801時間という長い期間でしたが、4月7日に入校した133名の入校生が、誰一人欠けることもなく133名の修了生として旅立っていくことは、チーフ教官としてこれ以上幸せなことはありません。全員が一人前の消防士を目指し、励まし合い、前を向いて走り続けた努力の結果だと思っています。そんな姿を見ながら私自身も様々なことを学び、教官として、消防職員として、そして一人の人間として成長させてもらいました。本当に感謝しています。

初任科第91期をスタートするにあたり、私は「人間形成」の部分に力を注いでいこうと決めていました。そして入校初日には、「消防とは人と人をつなぐ仕事である」と伝えました。どれだけ広く深い知識を持っていても、どれだけ高度で精密な技術を持っていても、心が通っていない人間は現場では通用せず、自分本位な人間は組織に対し悪影響を及ぼすことさえあります。嘘偽りなく、徳のある、所業の美しい人間であれば、どんな困難にも立ち向かい、困っている人にはいつでも手を差し伸べる消防士になれる。そんな思いを込めて、第91期には「真善美」というスローガンを掲げることにしました。

所属に戻れば毎日が忙しく、覚えることも山積みです。困難な現場に出動することもあり、過酷な日々を送ることになるかもしれません。しかし、それ以上にやりがいがある仕事だと気づく瞬間が訪れます。それまでは、どんなことも真摯に受け止め、手を抜かず、ひたむきに走り続けてください。そうすれば、きっと周りから頼りにされる人間になれる。みんなならなるはずですよ。

「真善美」を兼ね備えた消防士133人に会える日を楽しみに待っています。

初任科第91期チーフ教官 鈴木 啓介（静岡市消防局から派遣）



さあ、新たなスタートだ！



初任科第91期生と教官 がんばれ～！

## 真善美

真善美とは人間の理想や追求目標となる普遍的な価値観である。  
人間として成長し、洗練された消防人となれ！

### ワンチョット(チョイネタ)コーナー 今月のつぶやき

# 塩崎ぜつ校長

令和2年の秋も深まり

この間まで半袖で生活していたのに、10月も下旬になると急に寒くなってきた。  
いよいよ冬もすぐそこまで来ている。

つい1か月前まで、133人の初任科91期の学生が、  
ここ消防学校で、日々、厳しい訓練に明け暮れていた。

多くの若者が集い、切磋琢磨して、地域の安全安心のために頑張るその様子は、  
厳しく、熱気があり、さらにとても爽やかで、賑やかとも感じた。

今、皆、それぞれ、新たなスタートを切っていると思う。

ある友人と電話で話す機会があり、彼の所属に初任科91期の消防士が配属されていることを聞いた。

「とても素直で、真面目。毎日、一生懸命に頑張っています。」との話だった。

心の中で思った、『そうか、頑張ってるか。』

友人が、その91期生に「学校長はどうだった？」と尋ねたところ「ホンワカしてました。」とのお答え。

厳しさで全国にその名を轟かせている(ちょっと大袈裟?)わが消防学校にあって、

不謹慎かもしれないが、校長の正直な感想は、

『覚えていてくれてありがとうね。うれしい褒め言葉だよ。』

訓示風に結びたい。

『初任科91期修了の皆さん、日々、元気に頑張ってますか？

皆さんのエンドレスのファイトとチャレンジを応援しています。 以上!』



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1  
☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: [fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp)

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞご覧ください。

静岡県消防学校

検索

